

2024年度事業報告

特定非営利活動法人WE 21 ジャパン都筑

事業概要

2024年度 WE21 ジャパン都筑の活動では、秋の支援キャンペーンにおいて、支援先のアフガニスタンの「女性たちの学校」とメッセージのやりとりが直接でき、これまでになく支援先との連帯を感じることができました。

WE ショップつづきでは、新たなボランティアが増え、ボランティアのショップへの積極的な関わり方が強まってきて、売り上げは目標を達成し、コロナ前の売り上げを超える実績となりました。

国際状況は、ウクライナへの軍事侵攻、イスラエルによるガザへの攻撃が未だに終結せず、また国内外での様々な自然災害も多く、私たちが安心して暮らしていける状態にはほど遠い日々が続いています。そのような中で、私たちが日々の生活の中でできることは何かを常に考え、行動していきたいと思えます。

事業報告

1. 資源のリユースリサイクルを推進する事業

2024年度リユースリサイクル売上 5,415,489円（目標比100%、前年比101%）

2024年度ショップボランティア 新規登録 10名

※月ごとの詳細は2024年度活動実績を参照

実績	売り上げ	顧客数	ボランティア延べ（実人数）	寄付者（新規）
2024年度	5,415,489円	6,615人	649人（29人）	1959人（77）
2023年度	5,339,428円	6,479人	654人（26人）	1872人（79）
前年比	101%	102%	99%（112%）	105%（97%）
2019年度	5,339,913円	6,797人	753人（19人）	1853人（88）

- 1) 年間計画通りに活動することができました。年3回のセール及び着物フェアは十分な換気を行い入店制限を実施したうえで開催しました。雨の日対策として、今年も6月に「雨の日ラッキーくじ」を実施、顧客数の落ち込みを防ぐ努力をしました。毎月1日、15日に何かがお得になる「わくわくデー」は定着し、毎回楽しみにしているお客様が多く来店されています。

	売上	顧客数	前年比
アニバーサリーセール	264,655円	303人	113%
夏のセール	212,890円	251人	110%
着物フェア	223,520円	126人	74%
冬のセール	236,750円	281人	97%

- 2) 様々な寄付品を整理・管理し、従来の「衣類・雑貨」というくくりを越え、季節感はもちろん、桜や猫などのモチーフ、春のインテリア・秋のお出かけといったテーマを設けた売り場づくりをし、商品が最大限魅力的に見えるような陳列をしました。また、テーマに沿った雑貨は、ある程度集まるまで待ち、まとめて陳列することで、お客様の選択肢を増やし、わくわく感を持ってもらえるよう工夫しています。売り場の整理整頓を心掛け、お客様が手に取りやすく、買い物がしやすくなるよう努力しました。
- 3) 公式ラインやインスタグラムをショップの情報発信に役立て、それをきっかけに多くのお客様が来店、売上アップにもつながっています。公式ラインにリッチメニューを作成し、ラインからホームページやインスタグラムなどに飛べるようにしました。お友達登録数は250名（前年比118%）になり、たくさんのお客様にショップの情報を直接届けることが可能となりました。ショップ企画のお知らせだけでなく、魅力的な商品などをアップし、「公式ラインのお知らせが来るとショップに足を運びたくなる」という声を多数いただき、スタッフの励みにもなっています。
- 4) 夏の厳しい暑さの時期に「ひと休みスポット」を作り、暑い中来店したお客様が座って涼めるようにしました。売り場の一部を休憩場所にする試みはお客様にも好評でWEショップが一般のリサイクルショップとは違うことをお伝えできたように思います。また、6年目となった「お下がり交換会」はタウンニュース、ロコっちなどのメディアに取り上げられただけでなく、地域の保育園や子育て支援施設などにもチラシを置かせてもらうことができ、WEショップを知っていただくきっかけとなっています。
- 5) 昨年度に引き続き、チラシを配架している地域施設からの紹介、ショップでの声掛けにより、10名の方を新しいボランティアとしてお迎えしました。WEショップのことを知っていただくとともに、親睦を深められるようボランティアミーティングを開催しました。レジ操作のマニュアルを作成し、ボランティアだけでショップを運営する時間を作ることができました。
- 6) リメイクチーム（メンバー10名）
寄付された着物や手芸用品を活用し、リメイク作品として販売をしました。
(124点 165,780円)
毎月第4月曜日にリメイクチーム会議を開催し、リメイク作品を持ち寄りながら、合同で小物づくりや、リメイク講座を開催するなど、活発に活動を行いました。
特に今年度は衣類の制作に力を入れました。
 - ・10月リメイク講座「一緒に作りましょう ハギレでつくれるペンダント」参加10名
 - ・2月14, 15日 WE21 着物・リメイクフェア出店販売 76,560円

7) 資源の有効利用

整理整頓を心がけ、衣類は季節ごと、雑貨は品目ごとにまとめて管理し寄付品が有効活用されるように工夫しています。販売できず廃棄になるものを減らすため、「寄付していただきたい物・寄付いただけない物」のチラシを活用しました。公式ラインやインスタグラムを使い、広く商品情報を知らせるとともに、見切り品をまとめ売りや格安販売するなど、廃棄を減らす努力をしました。

ショップという拠点を生かし、羽毛布団の回収を行い、WE ショップが資源の有効活用に取り組んでいることをアピールしました。WE 21 ジャパン・グループの一員として、家庭での使用済み食用油の回収に取り組み、「WE 油田つづき」を継続しました。

本年度も故繊維業者「ナカノ」を通じて衣類のリサイクルに努め、同社が開発したエコ手袋を販売しました。

■羽毛回収 2024 年度 10.8kg (1kg以上 8 枚、1kg未満 1 枚、ダウンジャケット 9 枚)

CO₂削減量 19.0kg (前年比 40%)

■廃食用油回収 2024 年度 280kg (CO₂ 削減量 728kg) (前年比 112%)

リサイクル提携先

古 布 : ナカノ(株) 横浜市金沢区福浦2丁目 8-8

廃食用油 : (株)ユーズ 東京都墨田区八広 3-39-5

羽毛布団 : (一社)グリーンダウンプロジェクト 東京都北区田端 6-4-22

【日時】 通年

【場所】 横浜市都筑区

【従事者】 運営委員6名 ボランティア 54 名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 5,281,042 円

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 (民際支援事業)

1) 民際支援事業

①一般社団法人平和村ユナイテッド「女性たちの学校」を 2024 年度の支援先としました。

タリバーン政権下で厳しい制限を受けながらもアフガニスタンで女性教育に取り組む「女性たちの学校」を支援しました。10 月には応援キャンペーンを実施しました。

講座開催時や応援キャンペーン期間中、募金箱を設置し寄付を募りました。

助成団体：一般社団法人平和村ユナイテッド

事業名： 「女性たちの学校」

助成金額： 128,700 円

②「3.11を忘れない」東日本大震災支援

14年前の大震災と原子力発電所の事故による大災害を忘れずにいようと3月11日のWEショップの売り上げを、特定非営利活動法人いわき放射能市民測定室たらちねに寄付しました。

助成団体：特定非営利活動法人いわき放射能市民測定室たらちね

事業内容：福島第一原子力発電所の事故による被ばくの被害から子どもたちと地域の人々の健康と暮らしを守る。こころのケア、海洋調査

助成金額：36,606円

③イラク・シリア支援 JIM-NETチョコ募金

店頭にてチョコレートを置き、募金を集めました。今年度も都筑区内の市民活動団体にも働きかけ、販売につなげました。イラクの小児がんの支援、シリア難民支援、JIM-NETハウスの運営、福島の子どものための支援に使われました。

募金先：特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)

事業名：イラクの小児がんの医療支援・シリア難民医療支援・福島の子どものための支援

募金額：115,476円

④フードドライブ フードシェア*つづき

2021年4月より、毎月1日～10日に店頭でフードドライブを実施しました。7月には、需要の多いお米に対し、「米一合から」キャンペーンを行いました。お米、お菓子、レトルト食品などのほかに、生理用品などの生活雑貨の寄付も集まりました。フードシェア*つづき利用者アンケートから、「気持ちも立て直している」、「子どもに元気を届けていただきありがたい」、「応援してくれる方がいることも心強く、支えになる」という声が寄せられています。

その他、10月にはDVから避難した女性に対し、衣服の緊急支援に協力しました。

寄付先： フードシェア*つづき (食品・雑貨 102.9kg 米 45.5kg)

助成金および募金の総額

	寄付金・助成金	募金	計
平和村ユナイテッド「女性たちの学校」	88,867円	39,833円	128,700円
「3.11 忘れない」東日本大震災支援	36,606円		36,606円
JIM-NET チョコ募金		115,476円	115,476円
WE21ジャパン運営寄付	15,000円		15,000円
合計	140,473円	155,309円	295,782円

2) 民際収益事業

- ① パレスチナオリーブオイル (常設) ・オリーブ石けん (常設) ・ザアタル・刺繍製品の販売
イスラエル・パレスチナの平和のために設立されたオリーブオイル生産団体のガリラヤのシンデリアナのオリーブオイルとザアタル、パレスチナ西岸地域のナーブルスで生産された石けんを店内で販売しました。

② 森育ちのしょうがパウダー販売（常設）

今年度から WE 2 1 グループしょうがパウダー連絡会に参加し、フィリピンの北ルソンの山岳地域の3つの村の生産者組織が、収入向上と保健事業のために生産するしょうがパウダーを計画購入して店内で販売しました。

③ 森育ちのしょうがクッキー

森育ちのしょうがパウダーを原料とし、横浜市内の社会福祉法人が製造したクッキーを店内で販売しました。

④ 珈琲工場&百屋（常設）

コーヒーの森事業で支援してきたフィリピン・ルソン島の山岳地帯にあるバアヤン村の森で育てられたコーヒーを店内で販売しました。

応援キャンペーンの際にはネパール産フェアトレードスパイスを使用したカレーを販売しました。

⑤ アフガンサフランより仕入れた食品の販売

応援キャンペーンの期間中にアフガニスタンでオーガニック栽培されたドライフルーツやナッツ、ハーブティーを販売しました。

製品	支援団体	仕入額	販売数
オリーブ石鹼等オリーブ製品 ザアタル	合同会社パレスチナ・オリーブ	36,781 円	オリーブ石鹼 25 オリーブオイル大 5 オリーブオイル小 17 ザアタル 8 刺繍商品 3
森育ちのしょうがパウダー	ウバパス/ダイヨコン/ランパダ/シュントック財団	32,088 円	28
森育ちのしょうがクッキー	社会福祉法人夢 21 福祉会まどか工房	7,011 円	21
フィリピンバアヤン村コーヒー	珈琲工場&百屋 CGN(コーディリエラ・グリーン・ネットワーク)	14,138 円	18
スパイスカレー	珈琲工場&百屋	3,931 円	11
ナッツ、ドライフルーツ類、 ハーブティー	アフガンサフラン	31,622 円	72
合計		125,571 円	

【日時】 通年

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員 6 名

【受益対象者】 アジア等（フィリピン・イラク・シリア・パレスチナ・アフ

ガニスタン・ネパール等)の市民、福島県・神奈川県
【事業支出額】438,812円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（共育活動）

1) WE 講座 「女性たちの学校」をかけはし都筑で実施しました。(2024年5月18日)

参加者 14人

講師 一般社団法人平和村ユナイテッド 代表小野山亮氏

アフガニスタンのこと、タリバンによる女性教育制限のこと、そしてその中で学ぼうとする女性たちの取り組みについてお話を聞きました。

現地で学ぶ女学生のインタビュー映像では、閉ざされた状況の中でも希望をもって暮らす姿も紹介されました。

この講座をきっかけに「アフガニスタンの女性たちへ～応援キャンペーン」に繋がりました。

2) 「アフガニスタンの女性たちへ～応援キャンペーン」を実施しました。(10月15日～10月19日)

常設のフェアトレード商品の他に支援先のアフガニスタンにちなんだ食品をアフガンサフランから仕入れ試食販売しました。

フェアトレードを扱うショップという点もアピールしました。

支援する「女性たちの学校」を紹介した展示パネルを介し、来店者と女性たちの教育などについての思いや考えを分かち合うことができました。

また来店された方々からアフガニスタンの女性たちへ応援する気持ちをカードに書いていただきました。それらの言葉を集めたメッセージボードの写真と訳文を「平和村ユナイテッド」を通じて現地パートナー団体に届けていただいたところ一つのメッセージすべてにお返事がきました。

日本からメッセージとそれぞれの返信を店内に掲示し、カードを書きくださった方々にもお知らせしました。

日本からアフガニスタンに至り、そしてまた還ってきた言葉と思いが私たちを結んでくれました。

3) リメイク講座「一緒に作りましょう ハギレでつくれるペンダント」をかけはし都筑で開催しました。(10月28日)参加者10名

着物のハギレを使い、不要になったものも工夫して使うことや、手仕事の楽しさを伝えるリメイク講座を開催しました。昨年好評だった和布のネックレスをさらに作りやすく工夫し、参加者とメンバーが二人一組となって、楽しみながら作成することができました。

4) つづき人交流フェスタ（都筑区主催）に参加しました。(2月27日～3月2日)

活動紹介のパネルと、寄付品の見本を掲示し、来場者に小さな手作りカードを渡して WE ショップのリサイクルと民際支援を紹介する活動をボランティア中心で行いました。

5) 都筑区民活動センター主催の交流サロン「ちょっと知りたい国際交流・国際協力～都筑から世界につながる」に講師として参加し、WE ショップつづきでの、お買い物や寄付が国際交流、国際協力につながっていることを紹介しました。

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員 6名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 5,265 円

4. 法人の事業の広報普及を図る事業（広報活動）

1) WE21 ジャパン都筑ニュースを 3 回（春、秋、冬）発行しました。配信は、郵送からメールのみとしました。

ニュースおよびチラシ作成

	部数	内容	配布対象
4 月	4000	2023 支援先・支援額報告、2023 年度の活動概要、新しい支援先と WE 講座のお知らせ	ボランティアによる地域配布 会員・賛助会員・協力者へメール ショップ内配布、地域の配架
9 月	4500	アフガニスタンの女性たちへ～応援キャンペーン、着物フェア、リメイク講座	会員・賛助会員・協力者へメール ショップ内配布、地域の配架 新聞折り込み（4,000 部）
12 月	200	応援メッセージとその返事、チョコ募金 お知らせ、ボランティアの声	会員・賛助会員・協力者へメール ショップ内配布、地域の配架

2) WE ショップつづき公式 LINE の画面下部に、リッチメニューを作成し、Instagram、店舗情報、HP、最新のニュース、今月のお知らせ、支援先 のページにすぐにリンクできるようにし、WE ショップつづきの活動をわかりやすくお知らせするようにしました。

3) HP、Google マイビジネス、Instagram、Facebook も活用し、情報発信に努めました。

Instagram、Facebook へのアップは、複数メンバーで行えるようになりました。

4) セールのお知らせは、タウンニュースを利用してお客様に周知を図りました。WE 講座 「女性たちの学校」、「アフガニスタンの女性たちへ～応援キャンペーン」、「子ども服おさがり交換会」、は、タウンニュースに取り上げてもらいました。センター南の地域情報発信サイト「ロコっち」に、ショップからの情報を載せてもらいました。

5) 都筑区民活動センター等への配架用チラシを作成し、ショップへの顧客拡大、ボランティア拡大につなげました。

6) 今年の支援先の女性たちの学校を紹介するパネルを作成し、またお客様からいただいたメッセージ一覧とそれに対する返信メッセージをパネルにして、ショップに掲示し、チャリティショップとしてのショップをアピールしました。

【場所】 横浜市都筑区
【従事者】 運営委員6名 ボランティア 15名
【受益対象者】 一般市民
【事業支出額】 67,729 円

組織活動

1) 運営委員会

今年度は新たに一人運営委員が増え、6人体制での運営となりました。運営委員会は、年度当初に決定した日程に従い、毎月開催することができました。オンラインでの参加もあり、円滑に協議・検討をすることができました。

ショップ運営・組織活動等、全体的な活動については、年度当初に運営委員による役割分担を明確化しました。方針に沿って実施計画をたてることにより、支障なく業務を遂行することができました。会計、税務、法人運営の届け出等については、外部に委託しました。

2) 会員

会員および協力者の方々へは活動をより一層理解、共感してもらえようニュース、SNSを活用して、ショップの運営や様々な支援活動をお知らせしました。

また、フェアトレードフェアや店内ポスター、WE 講座等の取り組みや来店者への声かけにより支援活動を広くアピールし、会員の増加につながりました。

都筑区役所区民活動センターやかけはし都筑へのニュースの継続的な配架や、HPやインスタグラムなどのSNSの積極的な活用により、WEの活動への関心が広がるよう努めました。

認定NPO法人として活動や寄付メリットの周知に務め、寄付者を募りました。

正会員実績 2024年度末 31名 (2023年度末 28名 入会2名 賛助会員より異動2名 退会1名)

賛助会員実績 2024年度末 14名 (2023年度末 14名 入会2名 正会員へ異動2名)

寄付者 2024年度 13名 計 149,000円

3) ボランティア活動

今年度は、新たに10名の方をボランティアとしてお迎えすることができました。それぞれのボランティアは好きなこと、得意なことを生かして活動しています。人手が必要な時にボランティアラインで呼びかけると、積極的にシフトに入ったり、つづき人交流フェスタでの会場案内などもしてもらいなど、力を発揮してもらいました。定期的、継続的な活動が難しいボランティアもいますが、折を見て呼びかけをするなど繋がりを保ち、セールや着物フェアなど人手が必要な時には、力を貸してもらいました。

リメイクチームは1名増え、リメイク講座の開催、WE21 着物・リメイクフェアに出店するなど意欲的に活動することができました。

4) WE 2 1 ジャパン・グループとの連携

- ・WE 2 1 ジャパン・グループ会議に参加し、運営に役立てました。
- ・WE 2 1 ジャパン主催の企画や講座（WE フェスタ、着物・リメイクフェア、スタッフ研修）、会員団体の講座（「アフガニスタンでの「地下教育」—取り囲む壁、超えて放たれる光」「JIM-NET 報告会」「チャリティショップでこう使う SNS」「キャッシュレス対応、どうしていますか？」）に参加しました。

5) 地域との連携

- ・都筑区民活動支援センターの企画に講師として参加、つづき人交流フェスタにパネル展示とボランティア体験で参加。都筑区民活動支援センター、都筑区社会福祉協議会からは日常的にボランティア紹介をしてもらうなど、連携を深めています。
- ・つづき相談窓口にオブザーバー参加し、参加団体の活動情報共有、フードシェア*つづきの活動を共有しました。10月7日「自分探し応援団」に協力し、地域での雇用創出に貢献しました。つづき相談窓口のパンフレットを店頭に置きました。
- ・つづきMYプラザから依頼された、中高生ボランティアを受け入れました。(8/7~8、3名)
- ・都筑区地蔵まつりにお下がり交換会のチラシを置いてもらいました。
- ・横浜市の就労支援事業の受け入れを行い、2024年4月から1年間、実習生1名を受け入れました。

【場所】 横浜市都筑区

【従事者】 運営委員6名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 247,001 円